

## 国境写真家 斉藤マサヨシ 氏

### Masayoshi Saito "Border photographer"

サハリン(樺太)、稚内周辺・利尻/礼文島、知床など北海道を中心に撮影。



1955年、稚内市生まれ。

東京写真大短期大学部(現東京工芸大)卒業。稚内市役所に勤務していた2005年から毎年サハリンを訪問。15年に退職。本格的に写真家として活動を始めました。

サハリンに渡り、かつて南樺太と旧ロシア(ソ連)との間に引かれていた国境を見たり、太平洋戦争で日本軍と旧ソ連軍が戦闘を繰り広げた当時の国境、シュムシュ島(占守島)を訪問し、写真を通して見てもらうことが、平和につながる一歩と考えています。

写真集に「サハリンに残された日本」(北大出版会)があります。

## 千島歯舞諸島居住者連盟 安田 愛子氏

### 択捉島 薬取村えとろふとう しべとろむら 昭和14年生まれ



昭和22年、強制的に島を追われ、サハリン経由で送還されることになりました。

皆は着のみ着のまま少しの荷物を持って村を出ました。船に乗る時、父が村に残るよう命令されましたが、一緒に住んでいた将校の計らいで帰ることが出来ました。

ソキアから貨物船に乗り別飛べつとぶ・紗那しゃな・留別るべつ・内保ないぼと村人を乗せサハリンの真岡まおかに着きました。貨物船の中や真岡では、食事、トイレ共大変な思いをしましたが、無事函館港に着くことが出来ました。